

肥満症や糖代謝障害で当院糖尿病・内分泌代謝内科を受診中に、
発達検査を受けた患者さんの検体・情報を研究に利用すること
についてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 肥満や糖代謝障害と発達の関連に関する検討

[当院の研究責任者] 糖尿病・内分泌代謝内科 的場 ゆか

[研究の背景]

発達上の特性は個人の得意・不得意として現れますが、この特性を知り、うまく生かすことにより、目的とする行動をスムーズに行える可能性があります。肥満症や糖代謝障害があり、治療の一環として生活習慣を変えるように促されてもなかなか実践に至らない患者さんのうち、スムーズに行えない理由のひとつに発達が関係していることが推定されていますが、未だ十分に検討されていないのが現状です。

[研究の目的]

本研究の目的は、肥満や糖代謝障害と個人の得意・不得意などの特性が現れる発達に関して検討する事です。患者さんの得意・不得意を医療者が把握し、適切な指導アプローチを行うことで、患者さんも過度に負担を感じることなく、治療の質が向上につながることを期待しています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2018 年 4 月 1 日から西暦 2023 年 6 月 30 日の間に当院で発達に関する検査を受けた患者さん

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

●研究期間：西暦 2023年8月8日から西暦 2025年3月31日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

カルテ情報：

- ① 臨床所見（年齢、身長、体重、既往歴、家族歴、生活歴（飲酒・喫煙等）
- ② 血液検査所見（血糖値、HbA1c、血中インスリン濃度、肝機能、腎機能、脂質代謝関連、等）、尿検査所見
- ② 発達検査データ（ウェクスラー式知能検査：WAIS-III, WAIS-IV）

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

糖尿病・内分泌代謝内科 的場ゆか

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881